

24

- 1 見よ、主はこの地をむなしくし、これを荒れすたれさせ、これをくつがえして、その民を散らされる。
- 2 そして、その民も祭司もひとしく、しもべも主人もひとしく、はしためも主婦もひとしく、買う者も売る者もひとしく、貸す者も借りる者もひとしく、債権者も債務者もひとしく、この事にあう。
- 3 地は全くむなしくされ、全くかすめられる。主がこの言葉を告げられたからである。
- 4 地は悲しみ、衰え、世はしおれ、衰え、天も地と共にしおれはてる。
- 5 地はその住む民の下に汚された。これは彼らが律法にそむき、定めを犯し、とこしえの契約を破つたからだ。
- 6 それゆえ、のろいは地をのみつくし、そこに住む者はその罪に苦しみ、また地の民は焼かれて、わずかの者が残される。
- 7 新しいぶどう酒は悲しみ、ぶどうはしおれ、心の楽しい者もみな嘆ぐ。
- 8 鼓の音は静まり、喜ぶ者の騒ぎはやみ、琴の音もまた静まった。
- 9 彼らはもはや歌をうたつて酒を飲まず、濃き酒はこれを飲む者に苦くなる。
- 10 混乱せる町は破られ、すべての家は閉ざされて、はいることができない。
- 11 ちまたには酒の不足のために叫ぶ声があり、すべての喜びは暗くなり、地の楽しみは追いやられた。
- 12 町には荒れすたれた所のみ残り、その門もこわされて破れた。
- 13 地のうちで、もろもろの民のなかで残るものは、オリブの木の打たれた後の実のように、ぶどうの収穫の終った後にその採り残りを集めるようになる。

- 14 彼らは声をあげて喜び歌う。
  - 15 主の威光のゆえに、西から喜び呼ばれる。
  - 16 われわれは地の果から、さんびの歌を聞いた、
- 「栄光は正しい者にある」と。
- しかし、私は言う、「私はやせ衰える、私はやせ衰える、私はわざわいだ。欺く者はあざむき、欺く者は、はなはだしくあざむく」。

天と地をさばく

24

- 16 われわれは地の果から、さんびの歌を聞いた、
- 「栄光は正しい者にある」と。
- しかし、私は言う、「私はやせ衰える、私はやせ衰える、私はわざわいだ。欺く者はあざむき、欺く者は、はなはだしくあざむく」。
- 17 地に住む者よ、恐れと、落し穴と、わなとはあなたの上にある。
  - 18 恐れの声をのがれる者は落し穴に陥り、落し穴から出る者はわなに捕えられる。
  - 19 天の窓は開け、地の基が震い動くからである。地は裂け、地は激しく震い、
  - 20 地は酔いどれのようによろめき、仮小屋のようにゆり動く。
  - 21 その日が、主は天において、天の軍勢を罰し、地の上で、地のもろもろの王を罰せられる。
  - 22 彼らは囚人が土ろうの中を集められるように集められて、獄屋の中に閉ざされ、多くの日を経て後、罰せられる。
  - 23 こうして万軍の主がシオンの山およびエルサレムで統べ治め、かつその長老たちの前に、その栄光をあらわされるので、月はあわて、日は恥じる。

天と地をさばく

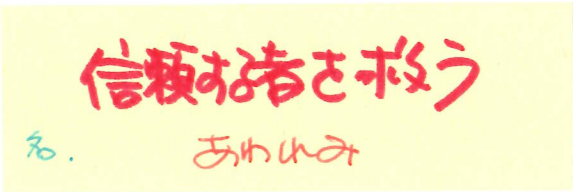
万軍の主



# 25

1 主よ、あなたはわが神、  
 私はあなたをあがめ、み名をほめたたえる。  
 あなたはさきに驚くべきみわざを行い、  
 いにしえから定めた計画を  
 真実をもって行われたから。  
 2 あなたは町を石塚とし、堅固な町を荒塚とされた。  
 外国人のやかたは、もはや町ではなく、  
 とこしえに建てられることはない。  
 3 それゆえ、強い民はあなたを尊び、  
 あらぶる国々の町はあなたを恐れる。  
 4 あなたは貧しい者のとりでとなり、  
 乏しい者の悩みのときのとりでとなり、  
 あらしをさける避け所となり、  
 熱さをさける陰となられた。  
 あらぶる者の及ぼす害は、  
 石がきを打つあらしのごとく、  
 5 かわいた地の熱さのようだからである。  
 あなたは外国人の驕きをおさえ、  
 雲が陰をもつて熱をとどめるように  
 あらぶる者の歌をとどめられる。

6 万軍の主はこの山で、すべての民のために肥えたものをもつて祝宴を設け、久しくたくわえたぶどう酒をもつて祝宴を設けられる。すなわち髓の多い肥えたものと、よく澄んだ長くたくわえたぶどう酒をもつて祝宴を設けられる。  
 7 また主はこの山で、すべての民のかぶっている顔とおいと、すべての国のおおっているおおい物とを破られる。  
 8 主はとこしえに死を滅ぼし、主なる神はすべての顔から涙をぬぐい、その民のはずかしめを全地の上から除かれる。これは主の語られたことである。  
 9 その日、人は言う、「見よ、これはわれわれの神である。私たちは彼を待ち望んだ。彼は私たちを救われる。これは主である。私たちは彼を待ち望んだ。私たちはその救を喜び楽しむ」と。



Rev.

# 25

10 主の手はこの山にとどまり、モアブは肥だめの中に踏まれるわらのように、おのれの所で踏みじられる。  
 11 彼はその中で泳ぐ物が泳ごうとして手を伸ばすように、その手を伸ばす。しかし主はその高ぶりを、その手の巧みなわざと共に低くされる。  
 12 その石がきの高い城郭を主は傾け倒し、地に投げうって、ちりにかえされる。

# 26

1 その日ユダの国で、この歌をうたう、  
 「われわれは堅固な町をもつ。  
 主は救をその石がきとし、  
 またとりでとされる。  
 2 門を開いて、信仰を守る正しい国民を入れよ。  
 3 あなたは全き平安をもつて  
 こころざしの堅固なものを守られる。  
 彼はあなたに信頼しているからである。  
 4 とこしえに主に信頼せよ、  
 主なる神はとこしえの岩だからである。  
 5 主は高き所、そびえたつ町に住む者をひきおろし、これを伏させ、これを地に伏させて、  
 ちりにかえされる。  
 6 こうして足で踏まれ、  
 貧しい者の足で踏まれ、  
 乏しい者はその上を歩む」。



正義と公平

26

7 正しい者の道は平らである。  
 あなたは正しい者の道をなめらかにされる。  
 8 主よ、あなたがさばきをなさる道で、  
 われわれはあなたを待ち望む。  
 われわれの魂の慕うものは、  
 あなたの記念の名である。  
 9 わが魂は夜あなたを慕い、  
 わがうちなる霊は、せつにあなたを求め、  
 あなたのさばきが地に行われるとき、  
 世に住む者は正義を学ぶからである。  
 10 悪しき者は恵まれても、なお正義を学ばず、  
 正しい地にあつても不義を行い、  
 主の威光を仰ぐことをしない。  
 11 主よ、あなたのみ手が高くあがるけれども、  
 彼らはそれを顧みない。  
 どうか、あなたのおのが民を救われぬ熱心を  
 彼らに見させて、大いに恥じさせ、  
 火をもつてあなたの敵を焼き滅ぼしてください。  
 12 主よ、あなたはわれわれのために  
 平和を設けられる。  
 あなたはわれわれのために  
 われわれのすべてのわざをなし遂げられた。  
 13 われわれの神、主よ、  
 あなた以外のものもろの主がわれわれを治めた。  
 しかし、われわれはただ、  
 あなたの名のみをあがめる。  
 14 死んだ者はまた生きない。  
 亡霊は生き返らない。  
 それで、あなたは彼らを罰して滅ぼし、  
 彼らの思い出をことごとく消し去られた。

26

15 主よ、あなたはこの国民を増し加えられた。  
 あなたはこの国民を増し加えられた。  
 あなたは栄光をあらわされた。  
 あなたは地の境を四方に広げられた。  
 16 主よ、彼らは悩みるとき、あなたに求めた。  
 彼らがあなたの懲しめにあつたとき、  
 祈をささげた。  
 17 主よ、はらめる女の産むときが近づいて苦しみ、  
 その痛みによつて叫ぶように、  
 われわれはあなたのゆえに、そのようであつた。  
 18 われわれは、はらみ、苦しんだ。  
 しかしわれわれの産んだものは風にすぎなかつた。  
 われわれは敷を地に施すこともせず、  
 また世に住む者を滅ぼすこともしなかつた。  
 19 あなたは死者は生き、彼らのなきがらは起さる。  
 ちりに伏す者よ、さめて喜びうたえ。  
 19 あなたは露は光の露であつて、  
 それを亡霊の国の上に降らされるからである。

正義と公正を行おう  
 義子子神



26

20 さあ、わが民よ、あなたのへやにはいり、  
あなたのうしろの戸を閉じて、  
憤りの過ぎ去るまで、しばらく隠れよ。  
21 見よ、主はそのおられる所を出て、  
地に住む者の不義を罰せられる。  
地はその上に流された血をあらわして、  
殺された者を、もはやおおうことがない。

27

1 その日、主は堅く大いなる強いつぎで逃げるへびレビヤタン、曲りくねるへびレビヤタンを罰し、また海におる龍を殺される。

2 その日

「麗しきぶどう畑よ、このことを歌え。

3 主なる私はこれを守り、

常に水をそそぎ、

夜も昼も守って、そこなう者のないようにする。

4 私は憤らない。

いばら、おどろが私と戦うなら、

私は進んでこれを攻め、

皆もろともに焼きつくす。

5 それを望まないなら、私の保護にたよって、

私と和らぎをなせ、

私と和らぎをなせ」。

6 後になれば、ヤコブは根をはり、

イスラエルは芽を出して花咲き、

その実を全世界に満たす。

不義とあがない実結ぶ  
民は実を結ぶ vs 殺

27

7 主は彼らを撃つた者を撃たれたように  
彼らを撃たれたか。

あるいは彼らを殺した者が殺されたように

彼らは殺されたか。

8 あなたは彼らと争って、彼らを追放された。

主は東風の日に、その激しい風をもって

彼らを移しやられた。

9 それゆえ、ヤコブの不義は

これによって、あがなわれる。

これによって結ぶ実は彼の罪を除く。

すなわち彼が祭壇のすべての石を

砕けた白堊のようにし、

アシラ像と香の祭壇とを再び建てないことである。

10 堅固な町は荒れてさびしく、

捨て去られたすまいは荒野のようだ。

子牛はそこに草を食い、

そこに伏して、その木の枝を裸にする。

11 その枝が枯れると、折り取られ、

女が来てそれを燃やす。

これは無知の民だからである。

それゆえ、彼らを造られた主は

彼らをあわれまれない。

彼らを形造られた主は、彼らを恵まれない。

12 イスラエルの人々よ、その日、主はユフラテ川からエジ

プトの川にいたるまで穀物の穂を打ち落される。そし

てあなたがたは、ひとりびひとり集められる。

13 その日大いなるラツパが鳴りひびき、アッスリヤの地に

ある失われた者と、エジプトの地に追いやられた者と

がきて、エルサレムの聖山で主を拝む。

